

＜教育目標＞

- 思いやりのある子ども
- 進んでやりぬく子ども
- じょうぶな子ども
- よく考える子ども

令和3年 6月 5日 (土)

練馬区立豊玉第二小学校

校長 永井 美奈子

豊二小だより 臨時号

「体育学習発表会」

6月5日(土)に体育学習発表会を無事開催することができました。今号は、その様子をお届けします。

5月からおよそ一か月、どの学年、学級の子供たちも、積み重ねてきた練習の成果を十分に発揮することができました。そして、お互いの努力を認め、温かい拍手を送り合う姿も素晴らしかったです。保護者の皆様には、毎日の体調管理や励ましのお声かけ、小物作り等の御協力をいただき、本当にありがとうございました。

2年生 「にじ」

2年生は、「にじ」をテーマに、虹のようなきれいな色のポンポンを使って、虹に関係した3つの曲に合わせて演じました。リズムダンスだけでなく、体操の動きも取り入れました。みんなで楽しみながら練習してきた成果を十分に発揮することができました。ポンポンの準備などの御協力ありがとうございました。



1年生 「世界に一つだけの花」

1年生は、「世界に一つだけの花」の曲に合わせて、ポンポンを使って踊りました。一人一人が唯一の存在ということで、この曲を選びました。リズムに乗って、楽しく踊ることができました。3つの隊形移動をし、最後はカッコよくポーズを決めて得意満面の笑顔でした。



コスモス1～3年「ドラえもん」

大好きな「ドラえもん」の曲を使ったダンスに取り組みました。子供たちは毎時間の練習にとっても一生懸命取り組み、そして、楽しく練習を重ねてきました。本番では、少し緊張しているお子さんもいましたが、楽しみながら、大きい振りで踊ることができました。



3年生 「エイサー」

3年生は、沖縄の伝統舞踊エイサーに取り組みました。「島人ぬ宝」の曲で、思い思いのカラーTシャツを着て踊りました。これまでの練習が自信となり、元気に大きな振りで踊ることができました。また、低学年グループの最上級生として、観覧の態度もとても立派でした。



4年生「エイサー」

都道府県の勉強をしている4年生は、沖縄の伝統舞踊エイサーに挑戦しました。

しなやか、かつ力強く大きく見せる踊りをするためにはどうしたらよいかを考えました。

目線、腕や足の曲げ伸ばしなども意識して踊ってきました。「ハイサイおじさん」や「島人ぬ宝」の曲に合わせて、これまでの練習の成果が発揮できた子供たちの表情は、達成感であふれていました。



5年生「豊二ソーラン」

5年生は、北海道のニシン漁の民謡であるソーラン節をアップテンポにアレンジした曲で、豊二ソーランを踊りました。大きなかけ声が出せない中で、いかに体全体を使い、大きくダイナミックに踊ることができるかと考え、練習に取り組んできました。本番では、それぞれの学級で作った目標を入れた大漁旗をはためかせ、高学年らしく、力強く踊り切ることができました。



コスモス4～6年「カイト」

コスモス高学年16名で、嵐の「カイト」を使ったフラッグ運動に取り組みました。曲の途中から5・6年生は、組体操の一人技に挑戦しました。練習を積み重ねてできるようになった技の数々をフラッグのはためく音とともに披露します。クライマックスでは、4人組でフラッグの技に取り組み、一体感を味わうことができました。6年生にとっては、最後となる演技。自分の力を精一杯表現することができました。



6年生「6年1組のキズナ～39人ならどこへでも～」

1曲目は「セプテンバー」。拍子取りやすく、一人技にぴったりです。技と技をつなぐ手拍子に注目。2曲目は「春を告げる」。アップテンポな曲で縄跳びに挑戦しました。メインの返し跳びが揃うとカッコいいです。3曲目は「カイト」。歌詞とフラッグがなびく様子がマッチします。

「最後」の演技だという意味と意識をもって取り組みました。

